

# ASAGOiNG

2018.03 no.7

## Index

### ASAGOiNG 2

朝来市の人と、まちと  
らいらっく・吉井裕也さん

### ACTiNG 4

朝来市で活動する  
Asago Labo 2017

### WORKiNG 5

朝来市で営む、働く  
STRONG DEPOT

### TOGAiNG 6

東河地域

YOU ARE THE FUTURE OF OUR TOWN!

TAKE FREE

# ASAGOING

## 朝来市の人と、まちと

らいらっく  
吉井裕也さん(和田山町)

## 終わりのない挑戦

### 波乱の時

朝来市和田山町にある酪農家に生まれ育った吉井さん。子どもの頃は「うちの家は牛飼いをしているんだな。」というぐらいの認識で、目指していたのはスポーツ選手。努力が実を結び、高校は野球の特待生として入学した。しかし、1年足らずで肘を壊してしまった。「これ以上、野球はできない。だったら勉強しよう。」との思いから、大学進学を目指すため、別の高校に転入した。その後、紆余曲折あり、高校を辞めることになったが、京都市内の病院で闘病中だった母親を見守るため、大学受験資格がとれる京都市内の学校に入った。病院と学校を行き来する日々が続き、18歳の時、闘病中だった母親が他界。朝来に戻った。

### ジェラート屋としての出発

朝来に帰って来たものの、何がしたいという思いはなく、その日その日で生きていけばいいかという感覚だった。とび職からドカタ、トラックの運転手など様々な仕事に就いた。そんな時、人生に転機が訪れた。それは家業である酪農の跡継ぎの話だった。跡を継ぐと言っても、すんなり納得するわけにはいかない。10年後を考えた時、この酪農だけで商売が成り立つとは到底考えられなかったのだ。「酪農だけなら僕はしない。」酪農+何か「だったらする。」と答えた。そこで酪農をしながら、父親が代表となりジェラート屋「らいらっく」を始めることになった。酪農一本だった吉井家にとっても新たな出発。ジェラート屋さんには、「いつかやってみよう」という母親の夢でもあった。より良いジェラート作りにこだわる為、2003年には全ての牛をホルスタインからジャージー牛に変えた。

### 足を踏み入れてから出来る夢がある

この3月9日で15年を迎えるらいらっく。らいらっくの代表も父親から自身へと継承されることになった。もちろんプレッシャーがある中で、従業員を守っていかないといけない現実に、夜中でも仕事の事を考える毎日。それは決して苦しいだけじゃない。ゴールのないモノづくりだからこそ追い続けられる夢がある。「より良いものを作って、よりたくさんの人に食べてもらいたい。そしてまず但馬で一番になりたい。その次に兵庫で。将来的には日本で通用する人物、店舗になりたい。」やる限りは全力で。今や、らいらっくでは、ジェラートだけでなく、らいらっく牧場で育った牛のミルクジャムやチーズケーキなどのミルクスイーツをはじめ、クリームパスタランチなどたくさんの商品を展開している。認知度も高まり、遠方からのお客さんで賑わった際はお店に列ができることも。らいらっく商品の取扱店も約25店舗まで拡大した。しかしまだまだ道の途中。これからは吉井さんは前を向いて走り続ける。

吉井さんの話の中で印象的だったのは、「足を踏み入れてからできる夢がある」という言葉。昔から学校で「夢は何ですか?」とよく聞かれる。「分かるわけがない。状況に応じて夢は変わる。」と吉井さん。歳を重ねるたび、経験し、自分も変わっていく。嬉しい事も悔しい事も、幸せな事も辛い事もその重みは大きくなる。その学びの中で追いかけて、叶えたい、守り続けたいことが夢となり、またこれからの自分の原動力となるのではないかと思う。



### らいらっく

【所】兵庫県朝来市和田山町白井486 【休】水  
【時】10:00~17:00 【問】079-670-1766  
MAIL >> info@lilac-ice.com

田園風景の道を走り、山側の上っていくと淡い緑色の屋根のかわいらしいお店が見えます。自然に囲まれた静かな場所に佇むそのお店に入ると、なんとも優しい雰囲気にもまれていて、ショーケースの中には十数種類のジェラートが。選ぶのにワクワクしながら迷ってしまう。今日はどれにしようかな。すぐそばにあるらいらっく牧場で搾りたてのミルクから作られたジェラートたち、あなたが選ぶのはどのお味ですか?

おすすめたくさん、どれにしよう?

## らいらっくのおすすめポイント



### 1 生まれ育つ牛

らいらっく牧場には13頭のジャージー牛がいます。酪農担当は、吉井さんのお父さん。ホルスタインよりも搾れるミルクの量は半分以下になりますが、より濃厚なミルクです。もともと気性が荒いと言われているジャージー牛ですが、吉井さんは牛を絶対に怒らなようにしているため、おとなしく、優しい牛に育てているのだそう。山から湧き出した新鮮な山水を飲み、ストレスなく健康に育った牛から採れるミルクはやっぱりおいしいのです!



### 2 デザート

「ふわふわカマン」、「ガトーフロマージュ」などらいらっく牧場で育てたジャージー牛の搾りたてミルクからできたチーズケーキは食感も風味も抜群!他にもあたたかいパンにひんやりジェラートを挟んだ「牧場のプリジェラ」やミルクジャム、アーモンドブリュレ、オリジナルアイスケーキなどがお楽しみいただけます!



### 3 ランチ

濃厚なミルクで作られたクリームパスタランチは絶品です!クリーム味は、カルボナーラとトマトクリームの2種類。お腹も心も満足ワンプレートです!

### 吉井さんのジェラートBEST 3

- ① みるくの香り
- ② 森の木の实
- ③ ティラミス

### お客さんの人気ジェラートBEST 3

- ① みるくの香り
- ② 森のイチゴ
- ③ カマンベールチーズ

お子様にはチョコ系やチョコバナナが人気!



インタビュー中も時折、お茶目なことを言う吉井さん。本当はすごく神経質でよく悩むらしい。「僕なんか、悩みまくりますよ。常に悩んで、行動しての繰り返し。」そんな吉井さんが作りだした渾身のジェラートとデザートたち。1度食べるとまた食べたくなる。口に入れるとなんかふっと幸せになる。そうやってきっとたくさんの人を笑顔にしている「らいらっく&らいらっく牧場」なのです。

# ACTiNG

## 朝来市で活動する

Asago Labo 2017

### MORE INFO

Facebook (AsaGooood!Mama!) >>  
www.facebook.com/Asagomama

(上段左→右) 濱さん/西賀さん  
/田中さん/福島さん  
(下段左→右) 山縣さん/堀之内さん  
/中島さん/天野さん

We will support  
mama in Asago!



AsagoLabo2017は、何かにチャレンジしたいと思っている子育て中のママを対象にした全5回のセミナーです。"自分"について改めて人前で話し見えた事。Laboで出会うという一歩は、彼女たちにとってどんな経験になったのでしょうか。6人のストーリーをインタビューしました。

**濱さん:**子育てがすごく孤独で、自分がどう楽しくあるか考えていました。大勢が集まる子育てサークルへは行けなかった私が、3人目を産んだ時に始めたのが、自宅で開催する"ママケア"=ママたちが集える場所でした。そんな時たまたま誘われて行ったLaboでママケアが人の役に立てることがわかり、自己肯定感も上りました。今後は、世代関係なく、地域の人が集えるコミュニティの場づくりに取り組んでいきたいです!

**山縣さん:**朝来市は地域での楽しいイベントがたくさんあり、素敵なまちなのに、住んでいる人がそれを知らないという事がずっと気になっていました。そこで以前から興味があったLaboに参加。何事も準備万端じゃないと一歩を踏み出せない自分が、仲間と協力し「出来ることを出来る時に出来る分だけ」と積極的に取り掛かれるように。今後は、朝来市のいいところを集めたマップを作りたいです!

**田中さん:**引っ越してきて、知り合いもおらず、どう過ごせばいいかわかりませんでした。Laboは開催日に子育てセンターでチラシをもらい、託児もできたので、参加を決定。出産後、自分の為に時間を使えるのが久しぶりでとてもワクワクしました。参加して自分の殻が破けました。仲間が出て、いろいろな話を人と共有できる安心感。そして、無人島暮らしのような気分から一転、地域に根差した感じが嬉しいです!

**堀之内さん:**子育てをしていると、着なくなった子ども服が出てくる。そんな子ども服を、気軽にあげたり、交換したりする楽しい仲間が朝来全体にいたらと思う事がありました。知人の紹介で参加したLabo。仲間作りが本当にできたなって感じます! Laboメンバーの協力もあり、物々交換、その名も"かえこと笑会"というイベントをする事も決まりました!

**天野さん:**朝来に知り合いが少なく、何かあった時に不安でした。Laboは紹介で。子どもが1歳になり、なにより託児があったので、色々な人の話が聞けるのを楽しみにしていました。参加中、メンバーと子育て情報サイト"AsaGooood!Mama!"のFacebookを立ち上げました。自分が何かをするなんてびっくり。応援してくれる人がいることに気がきました。そして仲間作りが大切だと感じました。  
**中島さん:**やりたいことが特別あるわけではなく、いつかできるかな~と思っていました。Laboは旦那さんから勧められ参加。産後で、やっと外に出られるようになったので気分転換にもなりましたし、お友達に出逢えたのでよかったです。参加をして"やりたいこと"というよりも、"好きなこと"は人の写真を撮ることだと改めて思いました。

STRONG DEPOT

# WORKiNG

## 朝来市で営む、働く

STRONG DEPOT (立野)

諦めず、可能性に立ちかえり進んでいく  
— 平山克士さん(経営者・パーソナルトレーナー・柔整師/40代)

昨年、接骨院兼筋トレ施設"ストロングデポ"をオープン。「全世代の人が体力をつけることが必要。」それはこれまでの経験から得た答えだった。19歳の時にアルバイトで病院の看護助手をしていた際、入院していた患者さん全員が寝たきりという事実衝撃を受けた。その後看護師になるも、「予防が大切」と柔整師に転向し、接骨院で働いた。そこで、多くの症状は筋力の低下が原因で起きていることを痛感。自身が開業した接骨院でトレーニングを取り入れると、体だけでなく精神的にも強く変化していく患者さんを見る事が出来たのだ。「何歳になってもその人らしく生きていけるように。そのための筋トレを。」平山さんの想いが詰まり、「今よりもいきいきとした自分になりたい、出来る事を増やしたい」といった人の後押しになる空間には希望があった。

1つのスタートがきっかけで  
— 田路吾子さん(パート/50代)

4人の子育てに奮闘してきた田路さん。知り合いの紹介で、平山接骨院でアルバイトを始めた。医療の分野で働くのは初めてで、最初はなにをするのも戸惑う事が多かったと言う。しかし患者さんの変化を見ていると、「すごいことに関わらせていただいているな。」と感じるようになった。ここで変わっていくのは患者さんだけではない。働き始めてから、田路さん自身も筋トレを始めた。人に出逢い、体を鍛えることで、みんなから「明るくなったね。」と言われるようになった。そんな田路さんにとって、この場所"ストロングデポ"はもはや無くてはならない場所になっている。「私を変えてくれたところ。これからは自分自身ももっと勉強し、女性目線で、先生とはまた違った立場を活かし、患者さんと向き合っていきたいです。」

### 田路さんの一日

- 5:00 ● 起床
- 6:00 ● 朝食
- 7:00 ● 身支度など
- 8:00 ● 仕事
- 10:00 ● 勤務終了後、デポで筋トレ
- 11:00 ● 帰宅(仕事は午前中)
- 12:00 ● 昼食
- 13:00 ● 家事
- 14:00 ● 家事
- 15:00 ● 家事
- 16:00 ● 家事
- 17:00 ● 家事
- 18:00 ● 家事
- 19:00 ● 夕食
- 20:00 ● 夕食
- 21:00 ● ストレッチをしたり体を動かす
- 22:00 ● ストレッチをしたり体を動かす
- 23:00 ● 就寝

営む人  
平山さん



働く人  
田路さん



# TOGAiNG

## 東河地域(和田山町)

昔も今も変わらない  
暮らしの原点が残る場所  
ありのままにいれる場所

東河地域は地域全体が農村部であり、田んぼの風景が広がります。家の窓を開けると聞こえる「コケッコー!」、散歩をしていると「モ〜!」と牛の声。あまりにも自然体な日常にホッとします。古墳も多く、昔から人が住んでいる場所でもあります。そんな“住みやすい環境”は今も健全で、ここ数年新しい団地も生まれ、朝来市で最も高齢化率の低い地域なのです。

## 東河地区大運動会

毎年秋に開催される東河地区大運動会。午前に開催される東河小学校(a)運動会が終わると、午後からは東河地域老若男女総出の地区対抗大運動会が始まるのです!リレーや大縄跳びなど様々な種目で競い合い、大人も真剣そのもの。また、世代を超えて交流ができ、家族同士での繋がりが広がり、地域全体で楽しみながら絆を深めている絶好の日となっているのです。

AUTUMN



## 東河地区文化祭

毎年11月下旬から12月上旬の土日に、東河地区文化祭が東河地区市民会館(b)で行われます。今年で38回目を迎える文化祭では、地域の人による書道や写真、地元の子どもの作品展示をはじめ、地元野菜の販売から芸能披露の時間まで盛りだくさん!また、東河地域ならではの杏岐のコーナーも♪東河に住むみなさんの日常が垣間見れる2日間。ぜひ足を運んでみて下さい!

WINTER



## PERSON of TOGA

### 宮田さん



東河地域で但馬牛を育てている宮田さん。宮田畜産(e)の牛舎には120頭を超える但馬牛が飼育されている。もともと父親の代から始まり、宮田さんは20歳の時から携わり始めた。牛の飼育で心掛けている事は「なるべく横着にしない」ということ。餌の食いつきを確認したり、病気の早期発見をするなど、牛を毎日しっかりと観察する。「少しでも但馬牛を理解してもらえたら、僕らはそれを引き継いで改良していかないといけない。」今や牛飼いが少なくなってきた時代。命あるものを後世に紡いでいく事は容易いことじゃない。だからこそ、「若い人にも魅力のある仕事にしたい。」と宮田さんは話す。

### 中田さん



夜久野高原に住む中田さんは、地域の農業法人でパートとして忙しく働く。そんな中田さんが一番大事にしている事は「暮らしの1個1個を大切にすること」ということ。「毎日薪を焚いてお風呂に入り、作った野菜を食べる。味噌や梅干しも作ります。」学生の頃は都会に憧れ、東京に出ていた。23歳の頃、父親が病をきっかけに畑を始め、自然に還る暮らしを傍で支えていた日々は、中田さんをも変えたのだ。「流れを受け入れて生きてきた。自分が用意したステージじゃなくても拒まないようにする。来たものを「重い」と考えない。やってみると案外それが合っていたりもするんです。」その経験は全て今に繋がっている。

### 和田さん



ヘアサロンshushu(f)を営む和田さん。京都で美容師をしていたが、朝来にUターン。美容師を続けるつもりはなかったが、周りの後押しもあり、「挑戦するのなら今かな。」とチャレンジする道を選んだ。あらゆる歯車が合い、思い立ってから1年以内に着工、オープン。地域でするからには、来てくれた人が求めるもの、その人の生活スタイルに合うものを一番大切にしてきた。「今まではお客様に育ててもらっている感覚。今来られている方のライフステージに合わせて必要であろうことを習得し、恩返しをしたい。」これまでも、そしてこれからも、その人自身に寄り添った地域密着型店舗を追求していく。

### 濱さん



結婚を機に神戸から東河地域に引っ越してきた濱さん。「自宅と職場とスーパーの往復だけだった。」という朝来ライフに転機が訪れたのは、知人に誘われて参加したAsago Laboだった。そこで自分と同じような悩みを抱える同世代のママたちと知り合い、刺激を貰い合う中で、東河地域でのコミュニティづくりに取り組んでいきたいと思うように。「私自身、産後に出かける場所がなかったので、ママと子どもたちが立ち寄れる場所を作りたい。そこに年配の方が来られたら他世代の交流も生まれます。東河地域の入り口にそんな場所を生み出したいですね。」と楽しそうに語る濱さん。その実現が待ち遠しい。

## EVENT



### 岡田古墳群

古墳が多いこの地域。昔から住みやすい地域だった?!



雨あがりの東河の一本道。田園風景に透き通った空気が最高のドライブコースです。



### 友好都市~長崎県壱岐市との交流~

その昔、百姓一揆の首謀者の一人として捕らえられた東河出身の小山弥兵衛は他の8名とともに長崎県壱岐島へ配流となります。弥兵衛の孫娘心諒尼は、弥兵衛に会うため尼となり壱岐を目指します。この物語から壱岐と東河の交流は生まれました。東河小学校の児童が壱岐を訪問したり、互いの地域イベントに参加し合うことも。心諒尼にゆかりのある場所である心諒尼公園(c)は、地域の子どもの遠足場所にもなっています。

### コウノトリに蛍に

東河地域の田んぼでは「コウノトリ育む農法」という自然環境を大切に農法に取り組んでいます。その結果、土壌にカエルやドジョウなどの生き物が増え、田んぼにコウノトリがやってくることも。この光景、朝来市内でも本当に貴重です!!また初夏には至る所に蛍スポットが。カエルの声を聴きながら、幻想的な夜のひとときを♪



### 歴史ある石部神社

今から1050年前に祀られたと言われている石部神社(d)では、毎年、神事である「宮神楽」が行われています。祭りの日は、地元の小学生による練り込み踊りがあり、その伝統はずっと続いてきました。また境内には、湧水でできた「神池」があり、夏場は足を冷やしたり、野菜を洗ったり、生活に無くてはならない場所でもあります。



### お祭りでは餅まき

東河地域の各地区で行われるお祭り行事はお餅をまくことが多いのです。それでいて「東河ならではの」のがこのお餅、ほとんどが外注ではなく、東河地域で育てられたお米を使って地元で作られたお餅なんです!お米の風味がしっかりしていてモチモチしたおいしい地元のお餅をいくらかでも食べられるなんて贅沢ですね!



東河地域について  
面積:約15.7km<sup>2</sup>  
人口:1,656人  
(住民基本台帳:H29.2月末)

お問い合わせ(東河地区協議会)  
079-670-0120  
Mail >> togakyo@asago-net.jp

### 与布土マーケット 「このゆびとまれ」

お客さんも出店者も、そしてスタッフも誰もが楽しめるマルシェを創ろうと昨年11月に開催した与布土マーケット「このゆびとまれ」の第2弾!!人気のパンや焼きそば、巻き寿司などのフードブース、ママケアや編み物などのワークショップブース、子どもも楽しめるプラレール広場や射的など盛りだくさん。最新情報は「与布土マーケット」で検索を!

【日時】3月17日(土)10時～  
【場所】旧与布土小学校  
【問】079-676-3030(与布土地域自治協議会)

### 竹田「今昔物語」

旧竹田保育所を活用し、起業支援や移住定住促進のための「ひと」が交流できるコミュニケーションポイントとしてオープンした「ASAGOiNG Garden KOUBA」で開催されるイベント。KOUBAで活動する作家・デザイナーの作品展、竹田の昔の町並みや保育所当時の写真展、美味しい食べ物店など、楽しいイベントになること間違いなし。

【日時】3月25日(日)11時～15時  
【場所】ASAGOiNG Garden KOUBA  
(旧竹田保育所)  
【問】079-672-1492  
(朝来市役所あさご暮らし応援課)

### 生野へいくろう祭り

生野で“へいくろう”とは「さぼる」とよく似た意味合いで使われており、「この日は仕事を忘れて楽しもうや!それで次の日からまた頑張ろうや!」との思いで名付けられた“へいくろう祭り”。トロッコを引いて力自慢選手権やゆるキャラじゃんけん大会、生野高校家庭科部が古文書から再現した「か寿てら(カステラ)」の販売など、生野の歴史を辿りながら遊べるメニューが盛りだくさんです。

【日時】4月15日(日)10時～15時  
【場所】史跡・生野銀山  
【問】079-679-2240  
(朝来市生野支所地域振興課)

## あなたはまちの未来 ASAGOiNG

まちは全て、誰かの「やってみよう」からできています。  
特にオープンマインドな朝来市は、「やってみよう」が多いまち。  
目を凝らせば、あなたの周りにも「やってみよう」がいっぱい見つかるはず。  
何かを頑張っている人を見ると、ちょっと嬉しい。  
そんな人を応援できたら、もっと嬉しい。  
自らやろうと思って実現できたら、そりゃもう毎日が楽しくなる。  
そんなあなたの「やってみよう」を応援しています。

少子高齢化、人口減少が進むなかで、朝来市の次の10年、20年を創りあげていく若い人たちに、「このまちが好きだな」と思ってもらいたい。好きになって住み続けてもらいたい。そんな「気持ちに届く」シティプロモーションが「あなたはまちの未来 ASAGOiNG」。他の誰でもない市民一人ひとり、「あなた」が主役となって朝来市の魅力を届けるシティプロモーションを目指しています。



### ACCESS

#### 自動車をご利用の場合

大阪・京都より約2時間  
神戸より約1時間30分

#### 鉄道をご利用の場合

大阪・京都・神戸より  
特急で約2時間

### あとがき

今回もまた素敵な人達にたくさん出会うことができました!取材をお受けいただいた皆様、ありがとうございました♪実は私も、この取材を通し、新たな一歩?挑戦をはじめたのです!!笑 その名も“筋トレ”。まさか自分がそんな事を始めるなんてびっくりです。初めてのトレーニングはなかなかキツく、筋肉痛が続きましたが、その先の自分を楽しみに頑張ります。笑(SHIHO)

発行日:2018年3月5日

発行元:朝来市あさご暮らし応援課 TEL 079-672-1492  
〒669-5292 兵庫県朝来市和田山町東谷213-1

企画/編集:Team ASAGOiNG

テキスト:SHIHO

アートディレクション/デザイン:木村淳